

令和 5 年度 常葉大学・常葉大学短期大学部
第 1 回 F D ・ S D 研修会（全学共通研修会）報告

日 時	令和 5 年 5 月 17 日（水）	15 時 10 分～16 時 30 分
場 所	常葉大学静岡草薙キャンパス A201 教室	
	静岡瀬名キャンパス 大会議室	
	静岡水落キャンパス 207 教室	
	浜松キャンパス	412 教室
研修内容	研究倫理研修会「研究環境の変化と研究公正の推進」	
講 師	広島大学高等教育研究開発センター 准教授 野内玲（オンライン<zoom>での講演）	
出席者数	常葉大学静岡草薙キャンパス	180 人
	静岡瀬名キャンパス	19 人
	静岡水落キャンパス	69 人
	浜松キャンパス	124 人
	合 計	392 人

※出席者数には、オンライン（Zoom）による視聴者、短大部教職員も含む。

令和 5 年度第 1 回 F D ・ S D 研修会（全学共通研修会）を開催した。

本年度第 1 回は「研究環境の変化と研究公正の推進」をテーマに、広島大学高等教育研究開発センターの野内玲准教授による研修倫理研修を実施した。大きく 3 つの柱「研究倫理と研究公正の諸相」「健全な研究環境の構築」「研究費不正」について、多角的な視点から研究活動における不正行為を理解する意義・目的についてお話があった。特に、研究不正は研究者個人に対してあらゆる影響を及ぼすだけではなく、組織への波及効果が高いとの説明があった。重要なこととして、研究公正の推進は、研究環境そのものの健全性を保つことであり、そのためには個々の研究者及び組織としても正確且つ最新の知識や知見の継続的な習得が求められている。近年、研究活動を取り巻く環境は著しく、利益相反マネジメントや安全保障輸出管理等への意識・管理の醸成も不可欠であるとの見解も示された。

今回の研修内容から、改めて研究不正行為を防止するには管理体制等のハード面の強化も重要であるが、倫理意識を醸成する研究倫理教育等のソフト面の強化の重要性を認識できた。研究不正行為を未然に防止する方法や研究倫理に関する教育方法等を検討することが今後必要となる。引き続き、研究倫理研修を通じて最新の動向や知識等の共有を推進する。